

早春の鎌倉を訪ねて 鎌倉アルプス

実施日 2018年3月11日(日)

天候 晴れ

リーダー 渋谷 賢寿

参加者 若村貴世子、若村勝昭、服部美千代、涌井良明、山崎富美恵、白石恵美子、小村井好枝、渋谷賢寿、渋谷京子、中村友子、遠井謙策、石原勝正、徳山敬子、白石佐恵、児玉章、宮崎敏男、阿部みゆき 計17名

費用 800円(東京駅起算)

タイム 北鎌倉駅(9:10)明月院(9:25)ティータイム(9:55~10:25)大平山(10:55~11:35)瑞泉寺(12:30)杉本寺(13:00)衣張山(13:30)名越切通し(14:10)鎌倉駅(15:00)

鎌倉を三方から囲む山が天然の要害と成る為源頼朝が都を定めただけ有って、寺院や大仏など有名な史跡と共に豊かな自然にも恵まれた所です。

今回は定番鎌倉アルプス散策コースでしたが、歩行距離13km、累積標高1000mと立派に☆☆★★の山行に成りました。

予定通り北鎌倉駅を出発し拝観料が必要な建長寺は迂回、明月院に向かいました。

苔むした石垣等が古都の趣を醸す住宅街を抜けると道は急な坂道になります。



登り切って見晴らしの効く所で早くもティータイム、熱々のミルクティーと手作りパウンドケーキで一息入れて大平山に向かう。途中所々木々間から海を望む事が出



来、好天にも恵まれ"風光る"の季語そのままの山道を経て大平山に到着。

眺望を楽しみ記念撮影、昼食を済まし衣張山に向かう為に一度市街地まで下山して町歩きに成りました。

今回、正直言って3回は道に迷いました、いずれも同行の方のGPSに依って大きな時間ロスも無くコースに復帰する事が出来ましたが、町歩きの難しさと道標の不完全さを強く感じました。肝心な所に道標が無いの



です、迷う余地の無い一本道に立っていたり、5分と行かない所に同じ内容の道標が有ったり、

どう考えても現場を歩いた事の無い人間が机上の地図に適当に印を付けて発注しているとしか思えません。

オリンピックを迎え政府も外国人にも理解しやすい道標を検討して



いと聞きますが、数を増やせば良いでは無く利用者の目線で設置場所を決めて欲しい物です。

ともあれまずは春の鎌倉を十分に楽しめた一日でした。

多くの方の参加を頂き有り難う御座いました。

(記・渋谷 賢寿)
(写真提供・涌井良明)